

テーマ おつきさま の えほん

しよめい	ちよしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゅうきごう	ないよう
おつきさま こっちむいて	片山 令子／ぶん 片山 健／え	福音館書店	Iホソ/カ	三日月おつきさま、こっちむいてよ。おなかがすいてるのかな。ぼくとおんなじだね。おつきさま、こっちむいてよ。そうか、ひこうきをみているんだね。ねえねえ、おつきさま。どうしてずーっと、ぼくのあとをついてくるの。ふしぎだなあ。おつきさま、こんばんは。
こねことおつきさま	アルベルティーヌ・ドウルタイユ／作・絵 ふしみ みさを／訳	徳間書店	Iホソ/ト	あるよる、こねこはつきとおいかけっこしながらのうじょうへでかけました。のうじょうについたこねこは、つばにあたまをつっこんでミルクをのみます。むちゅうでのんでいるうちに、こねこはつばごとつくえからおちてしまいました。あわててかくれたこねこですが、のうじょうのこどもたちにみつかってしまいました。
かぜをひいたおつきさま	レオニート・チシコフ／作・絵 鴻野 わか菜／訳	徳間書店	Iホソ/チ	あるばん、どしゃぶりの雨でおつきさまはかぜをひいてしまいました。空からじめんにおりてきたおつきさまをみつけたイワシさんは家につれてかえりました。くすりをのませ、あたたかいもうふでくるんであげるとおつきさまはぐっすりねむってしまいました。
おつきさまなにみてる	なかじま さおり／さく	岩崎書店	SIホソ	まあいおつきさま。お空のうえからなにみてる？ にっこりわらって、くうくうねているこいぬをみているよ。おつきさま びっくりしてどうしたの？にやにやんとどびだしたこねこをみているよ。おつきさまにこにことうれしそう。すやすやねむるこみているよ。おやすみなさい。
お月さまをのみこんだドラゴン	ジョアン・デ・レオン／さいわ・え ふせ まさこ／やく	新世研	Iホソ/レ	むかし、空には七つの月があり、人々はかみさまのバサラが空にまいたほうせきだと思っていました。ところが、やみのかみさまのバクナワが、月をあめだまのようにのみこんでいったのです。バサラは一つだけのこった月に竹やぶをうえ、バクナワからまもりました。
ぼく、おつきさまがほしいんだ	ジョナサン・エメット／文 ヴァネッサ・キャバン／絵 おびか ゆうこ／訳	徳間書店	Iホソ/キ	あるばんのことです。モグラがつちのなかからひょっこりとかおをだしました。よぞらにうかぶまるくておおきなつきをみて、モグラはほしくなりました。とびはねてみたり、ぼうでつついてみたり、きにのぼったり。モグラはつきをとることはできるのでしょうか